



子どもによる情報発信

# メディアキッズ通信

発行 特定非営利活動法人子ども文化コミュニティメディアキッズ 編集 メディアキッズ 発行責任者 山口 恵  
〒815-0032 福岡市南区塩原3-22-1-201NPO法人子ども文化コミュニティ TEL 092-552-1540 FAX 092-561-9840  
E-mail info@kodomo-abc.org URL http://www.kodomo-abc.org



VOL. 3



## 国際交流特集

遊びに学ぶまち ドイツ・日本子どもの参画交流会とは、

子どもが自分たちで、考え自分たちで決まりを作り、働き、遊ぶまち「ミニ・ミュンヘン」の創始者で、ドイツの子どもたちの遊び、教育、芸術、文化などの活動のリーダーたちと、福岡の子どもたち・福岡で子どもの参画に関わる人たちが交流しました。

遊びに学ぶまちドイツ・日本子どもの参画交流会in福岡 プログラム

基調講演「遊びのまちのコンセプトとしくみードイツの子どもミュージアムー」(ヴォルフガング ザッハリアス)

福岡での子どもの参画の事例報告

ワークショップ1「マジックボックス(缶をつかった不思議なおもちゃづくり)」

ワークショップ2「子どもたちとドイツ人画家との共同絵画制作(幼児親子対象)」

人形劇「ラマシャンへの道」モネゴイル劇団(デンマーク)  
ハンネ・トロレさん、ルイ君との出会い

5月20日ゆめアール大橋でモネゴイル劇団の「ラマシャンへの道」という1歳半から楽しめるデンマークの人形劇がありました。その日キッズクラブの小学生は、モネゴイル劇団のハンネ・トロレさんと、ルイ君との子どもとのルイ君と交流会をしました。

私たちキッズクラブのみんなは、ルイ君と一緒にだるまさんがころんだと折り紙で紙飛行機を作りました。通訳の人とキッズクラブの高校生に手伝ってもらいながら、日本の遊びを一生懸命伝えました。

ルイ君はデンマーク語は話せませんが、英語はあまり分からないようなので伝えるのが難しかったです。遊んでいるうちに分かってもらえま



折り紙の紙飛行機も、教える係りだったルイ君との出会いで教えることがあがりました。その後もみんなで紙飛行機飛ばしをして遊びました。

ハンネさんには、インタビューをさせていただきました。1歳半から5歳に向けての劇をつくり始めたきっかけや、デンマークと日本のちがいを聞いてみました。1歳半から5歳に向けての劇をつくり始めたきっかけは、ちいさな子ども向けの本物の劇をみせてあげたいと考えたからだそうです。

「デンマークと日本の違いを教えてください」と聞いてみると、デンマークでは毎日2時に学校が終るそ



(柴藤 千夏 小学6年生)

ドイツの人に会ってとても楽しかったです。缶でおもちゃを作ったりキッズがどんなことをしているか交流できてよかったです。

他の国の人との交流で自分の国とは違う国のことを知ることができてよかったです。

(森崎 友香 小学6年生)

発表はとても緊張しました。私はトップバッターで、目の前にはいろいろな人がいたのでとてもドキドキしながら発表しました。文は短くても、人の前にたって発表してみるととても長く感じました。

緊張するとこんなに長く感じるんだと改めて思いました。

食事をしながら、いろいろな人と話してきてとても楽しかったです。めったにできない体験だったのでとてもよかったです。

(柴藤 千夏 小学6年生)

僕は、ドイツの人が教えてくれる「缶がもどつてくるおもちゃ」のワークショップに参加しました。缶がもどつたり前にいったりしたところがすごいと思いました。

作品の交流のとき僕の作品は前には進みましたが、もどつてきませんでした。交流の前まではうまくいっていただけに悔しかったです。

(富永 匠 小学5年生)

私は、ドイツの方々とは交流してドイツには「ミニミュンヘン」という子どもたちのまちのようなものがあるということが分かりました。

食事のとき大人の人は身ぶり手ぶりで表現したりしていたけれど、私は緊張してドイツの方々とは全然話せませんでした。今度は積極的に話したいと思いました。

(内山 晶葉 小学5年生)

これまでの自分たちが行ってきた活動の発表をして、異国の方々という今までは違う人々が相手だったので、いつもより緊張してしまっただけで、そのせいか発表のときは少し声が小さくなっただけで、少し注意されてしまった。直接ことばは通じないかもしれないけれど、「伝える気持ち」が相手にちゃんと伝わったかどうかのほうに気がなった。

次回から今回の反省を発表を生かしていければいいと思った。

(山口 麗 中学1年生)



「遊びに学ぶまち ドイツ・日本子どもの参画交流会in福岡」に参加して



私はドイツからのお客様の前でメディアキッズのことを発表しました。

私一人だけやたら発表時間が長く、妙に皆さん笑っていて不思議でした。私としてはそんなにうけるとは思ってなかったです。まして狙ったわけでも何でもないのですが、後日会場された方のブログに載せていただけたので非常に不思議ながら光栄です。

終わった後の立食パーティーもドイツの方と喋る機会は無かったです。ものいろいろの方にメディアについて聞かれたり、お友達になることができました。

今思うとあの場はちゃんとドイツの方とおしゃべりするべきだったのですが、それ以外でもいろいろな方とお話できて有意義な時間でした。

(末松 由都 中学2年生)

この交流会で、日本とドイツお互いの国のことを知ることができてよかったです。

(佐藤 千秋 中学2年生)

ドイツの方々との交流で、日本のことを発表したときは、とても緊張したけれど、日本のいろいろなことを伝えることができて良かったし、途中で聞いていた人たちの顔に笑顔もあったので安心しました。

この交流会で、日本とドイツお互いの国のことを知ることができてよかったです。

(佐藤 千秋 中学2年生)

この交流会で、日本とドイツお互いの国のことを知ることができてよかったです。

(佐藤 千秋 中学2年生)

この交流会で、日本とドイツお互いの国のことを知ることができてよかったです。

(佐藤 千秋 中学2年生)